

# 道徳科学習指導案

指導者 木村 純也

日時 令和4年11月19日(土) 第1校時 9:20~10:05

年組 小学校複式高学年 計15名(5年生:男子4名,女子4名 6年生:男子4名,女子3名)

場所 小学校複式高学年教室

単元 なりたい自分に近づく

## 単元について

本学級は6年生児童と5年生児童が在籍する複式学級であり、複式低学年時(4年前)と複式中学年時(2年前)に同様の構成で学校生活を送っているため、互いによく知った間柄である。道徳科をはじめ、同程度同内容の学習を行う場合には、知識・技能・能力面での学年差はあまりなく、一つの学級集団として学習を進めている。児童の意識の中では6年生が学習を牽引する意識はあるものの、場合によっては同等に、あるいは5年生児童が前面に出て学習活動を進めることもあるが、それ自体も自然なこととして児童は受け止めている。これまで5年生児童は、学校行事において単式・養護学級を含む6年生の学年集団とともに活動することを経験している。また、学級内でも学校全体のために時間を割く6年生の姿を目の当たりにする機会が多く、半年後に最高学年として学校の雰囲気を作っていくことに対して意欲を高めている。一方、6年生児童の最大の関心事は中学校への進学である。本学級では7名全員が中学校受験を予定しており、自身の進路について希望を持つとともに、それぞれに多少の悩みを抱えているという実態がある。

今回の学習過程は、進級や進学を目前とした子どもたちが今一度自分自身の内面や特徴に目を向けることで自己理解を図り、これからの生活をよりよく築こうとする意欲を高めることを期待して、道徳科の複数時間と学級活動が関連付いた単元として構成されている。扱う教材は、児童が自分の生き方や大切にしたい考え方のロールモデルとなるよう、実際の人物の功績が扱われている教材を選んだ。その際は、男女や国内外の人物のバランスに配慮した。単元の学習テーマは「なりたい自分に近づく」である。第1時では『自分らしさをみつめよう』(光村図書:きみがいちばんひかるとき5)を扱い、自己理解を促すとともに、自分の長所や短所との向き合い方について考えを深める。第2時では『マザー・テレサ』(光村図書:きみがいちばんひかるとき6)を扱うことで、貧しい人々のために人生をささげたテレサの生き方から人としての在り方や人の心の持つ崇高さに気づき、自分のこれからの生き方について考えることができるようにする。第3時は『日本植物分類学の父―牧野富太郎―』での学習を通して、真理の探究のために尽力することが社会の発展につながることに気づき、知的に探究することの大切さやその意義について考え、自己の生活に生かそうとする態度を育む。第4時では学級活動を位置づけることで、学習テーマに対する一人一人の考え方を交流するとともに、多様な考え方に触れることで再度、自分のこれからの生活を見つめ、その実現のために取り組みたいことを考える時間とする。

指導にあたっては、単元の学習過程を児童と共有することで、児童が継続して学習テーマを意識することができるようにする。そのために、第1時で自己理解を深めた段階で、これからの自分自身の生活を見通すことで、「どのような自分になりたいか」ということを整理する。第2時と第3時では、あくまで生き方や考え方の一つ指針となるように留意し固定的な価値観を共有することのないようにするが、実在の人物の生き様を自分のこれからと照らし合わせて、自分のこれからの生活を見つめることができるようにする。第4時の学級活動では、第3時までの学習内容を整理したり、それに関わる考え方を友達と交流したりすることでより具体的な自身の行動決定を図り、今後の社会生活での身構えをつくって、本校PTAの刊行誌「しのめ」に掲載する「将来の夢」に関わる紙面の記事を書く(6年生児童)。

## 指導目標

自分の長所や短所などの特徴を見つめ直すとともに、実在した人物の生き方や考え方に触れることで、自身のこれからの生き方について考え、自分自身を高めようとする意欲や態度の伸長を図る。

## 指導計画 全4時間

- |                       |                |        |           |
|-----------------------|----------------|--------|-----------|
| 1. 『自分らしさをみつめよう』      | 【A-4 個性の伸長】    | (道徳科)  |           |
| 2. 『マザー・テレサ』          | 【D-21 感動・畏敬の念】 | (道徳科)  |           |
| 3. 『日本植物分類学の父-牧野富太郎-』 | 【A-6 真理の探究】    | (道徳科)  | <b>本時</b> |
| 4. なりたい自分に近づくために      |                | (学級活動) |           |

## 本時の目標

真理を追い求める牧野富太郎の生き方から、物事を探究しようとする人の心の働きについて考えを深め、よりよい生活を送るために探究心とどのように向き合うか考え、ワークシートに書くことができる。

## 教科等本来の魅力に迫るための教員の資質・能力との関連

○問題解決的単元型学習を取り入れる。【授業構想力】

○「知りたい」を本時のキーワードとすることで、探究心に対する「日常的な捉え」と「本時の学習を通しての気づき」を自覚することができるようにする。【授業実践力】

## 学習の展開

学習活動と内容	指導上の留意点（◆評価）
1. 普段の生活で、インターネット検索などで調べ物をした経験を思い出す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べ学習のときに使ったことがある。</li> <li>・気になることがあったら調べる。</li> </ul>	○インターネットで検索した経験を思い出すことで、日常的に抱く「知りたい」という気持ちに焦点をあて、本時の学習への方向付けを図る。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">             「知りたい」という気持ちは、生きていく上で必要なのか考えよう。           </div>	
2. 教科書を読み、富太郎の人生の歩みについて整理する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼少期から野山でスケッチをしていた。</li> <li>・19才のころ上京し、名前のない植物に名前をつけて世界へ広めようと決意した。</li> <li>・22才のころ、貧しいながらも研究や採集を続け「ムジナモ」を命名した。</li> <li>・生涯、1500以上の植物に命名し、40万種以上の標本を手がけた。</li> </ul>	○富太郎の功績を予め伝えておくことで、教材文の内容になじみの少ない児童も一読で内容の大体を捉えることができるようにする。  ○教科書にある年代を手がかりに富太郎の人生を整理して概観することで、富太郎が生涯をかけて植物の研究にいそしみ、大きな功績を残したことに気付くことができるようにする。
3. 富太郎が大きな功績を残すこととなった理由を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔から興味があったことを調べ続けたから。</li> <li>・貧しかったけど、努力を続けていたから。</li> <li>・植物のことを丁寧にスケッチしたから。</li> <li>・知りたいことを調べ続けていたから。</li> </ul>	○大きな功績を残すことにつながった出来事や、そのときの富太郎の気持ちを考える事で、どの時期においても、富太郎は「植物のことを研究したい(知りたい)」という気持ちに突き動かされていたことに気づくことができるようにする。
4. 生涯にわたって植物を調べ続けた富太郎の生き方について、考える事を交流する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯をかけて植物だけのことを研究するのはすごいことだと思う。</li> <li>・楽しみながらやっていることが分かった。</li> <li>・自分だったら、どこかでやめてしまいそう。</li> <li>・今でも研究資料になっていることがすごい。</li> </ul>	○富太郎の生き方や、それに対する友達の考えに触れることで、知りたいことを追求することが自分を高めたり、社会に貢献したりすることがあることに気づくことができるようにする。
5. めあてに対する考えを交流することで、これから大切にしたいことや心がけたいことなどを自分なりに考え、ワークシートに書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当のことがわかるまで調べることは自分のためや社会のためになると分かった。</li> <li>・知りたいと思ったことを調べて、終わりにしていたけど、これからはじっくり調べてみたいと思った。</li> </ul>	○めあてに対する考えを聞くことで、自身の「知りたい」と向き合い続けた富太郎の生き方やそれに対する友達の考えを踏まえて、現在の自分自身や今後の自分の生活について考えることを整理してワークシートに書く事ができるようにする。 ◆本時の学習をふり返り、大切にしたいことや心がけたいことなどをワークシートに書くことができているか。